

人間文化研究機構連携研究「人間文化資源の総合的研究」
研究班「9-19世紀文書資料の多元的複眼的比較研究」
第2回学際研究会

官僚制文書主義の比較2

昨年度に引き続き、官僚制文書主義の学際的国際的比較を行う。昨年度は、行政機構内部における文書行政を対象としたことに対し、今回は、行政機構外部あるいは末端における文書行政機能を対象とする。私的な契約行為を公証する行為は地球上の各地で行われたが、その担い手は非常に多様である。例えば、日本近世では、被支配身分の上層である共同体の代表者（名主や庄屋）が文書行政を委任されていたため、公証機能は彼らの職務の一つであった。一方、公証人という稼業は、日本以外の近世・近代社会に広く見られたが、近代ボリビアにおける公証人は植民地の官僚機構を文書管理の実務面から支える専門家でもあった。このように文書行政は狭義の官僚以外の多様な存在によって遂行されていることから、官僚制文書主義という視角の射程をはかることも期待される。

1. 日時 2011年9月29日（木） 午後1時30分～午後5時30分
2. 会場 人間文化研究機構国文学研究資料館2階オリエンテーション室
3. プログラム
13:30 自己紹介・趣旨説明
13:40 工藤航平（国文学研究資料館機関研究員）
「日本近世の村社会における名主奥印制度とアーカイブズ」
14:50 休憩
15:00 館蔵文書見学（工藤・渡辺）
15:30 吉江貴文（広島市立大学准教授）
「近代ボリビアにおける公証人制度と文書管理」
16:40 全体討論
17:30 終了予定

配布資料準備の都合上、出来る限り事前に参加のご連絡を御願ひ申し上げます。
参加連絡先:「9-19世紀文書資料の多元的複眼的比較研究」事務局 renkei.office@gmail.com
東京都立川市緑町10-3 国文学研究資料館